

バスのような汽車  
のような・・・ 川  
沿いの道を自分で  
運転

どちらでもよかったのか。

もともとが緩やかな風、

自分で運転していたのかというような西側のコンクリート階段は、

いまいちよく分からないものに帰着した。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。  
した。